



ここ数年、日本でも多くの大雨や洪水の被害が出ていますが、熱帯雨林気候のカンボジアにおいても毎年の雨季には水害に対する注意が必要です。

ただ、日本に比べると地域的にもともと水害に対しての備えや覚悟は多かれ少なかれあって、皆さんたくましく対応できている感じもあります。昨年からは新型コロナとの兼ね合いもあり、経済的に圧迫を受けているところも少なくありません。

首都プノンペン郊外の住宅街の中の便利屋さんとして食料品から生活用品など幅広く扱っていたチャンダさん、今年は10年ぶりくらいの洪水被害が出てしまい、70～80cmくらいお店が水に浸かってしまっただの店装にも商品にも大きな被害が出てしまいました。

そこで、最近カンボジアで若者たちを中心に流行ってきているスタイルのフランチャイズのカフェと提携して、カウンターをお店の前に設けてドリンク、ピザ、ホットドッグなどの販売をはじめました。このカウンターと内部の設備一式で2,500ドル掛かるということで、その資金をライスマから融資させていただいてます。



エリア内への無料配達も好評のようです。チャンダさんと妹さんで雑貨屋も見ながらドリンクや料理を作り、学生の息子さんと甥御さんたちにも交代で配達を手伝ってもらっているということです。

発展に伴い急激に都市化して核家族化も進んできているプノンペンですが、まだまだ多世帯で一緒に住んで協力し合い、子供たちの面倒を見合うという、こういう家族のあり方というのはやはり微笑ましくて良いものです。

このように家族で支え合ってワンランク上の生活を手に入れようと頑張るカンボジアの皆さんをライスマも応援して参ります。



2021年11月23日

磯部正広